

大阪府食育推進計画における目標値一覧（案）

資料3

第3次大阪府食育推進計画							
取組み	指標	現状値	目標値	データソース	考え方		
健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進	栄養バランスのとれた食生活を実践する府民の割合の増加 (主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている府民の割合)	継続 (一部変更)	34.6% (H28)	50%以上	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	・指標・データソースの見直し ・国の目標値設定の考え方を参考	
	朝食を欠食する人の割合の減少	7～14歳	継続	3.9% (H25-H27平均)	0%	国民健康・栄養調査	・国目標値に上方修正 ・指標・データソースの見直し ・国の目標値設定の考え方を参考
		15～19歳	継続 (一部変更)	16.4% (H25-H27平均)	5%以下		
		20～30歳代	継続	25.2% (H25-H27平均)	15%以下		
	野菜摂取量の増加	7～14歳	継続	223g (H25-H27平均)	300g以上	国民健康・栄養調査	・目標維持 ・健康日本21（第2次）等の目標値を参考に新規追加
		15～19歳	継続	216g (H25-H27平均)	350g以上	国民健康・栄養調査	
		20歳以上	新規	269g (H25-H27平均)	350g以上	国民健康・栄養調査	
	食塩摂取量の減少	20歳以上	新規	9.4g (H25-H27平均)	8g未満	国民健康・栄養調査	・生活習慣病の予防や改善のための実践状況を確認する指標の一つとして新規追加 ・健康日本21（第2次）等の目標を参考
	よく噛んで食べることに気をつけている府民の割合の増加	変更	55.4% (H27)	60%以上	大阪版健康・栄養調査	・国計画を踏まえて指標見直し	
	学校評価で食育を評価している小・中学校の割合の増加	変更	64.1% (H28)	100%	府教育庁調べ	・指標見直し	
ヘルシーメニューを提供する飲食店等の増加	「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店舗数	継続	12,650店舗 (H28)	13,500店舗	大阪ヘルシー外食推進協議会調べ	・直近の推移から上方修正	
	V.O.S.メニュー（野菜・油・食塩の量に配慮した健康的なメニュー） ロゴマーク使用承認件数	新規	16件 (H29)	350件	府健康医療部保健医療室調べ	・新規追加	
誰かと一緒に食べる「共食」の増加	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	継続	週10.7回 (H27)	週11回以上	大阪版健康・栄養調査	・国の目標値を参考に上方修正	
	地域や職場等の所属コミュニティで共食したいと思う人が共食する割合	新規	77.6% (H28)	80%以上	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	・新規追加 ・国の目標値設定の考え方を参考	
食の安全安心	大阪府食の安全安心メールマガジンによる情報提供（総配信数）の増加	変更	130万件 (H29)	230万件	府健康医療部食の安全推進課調べ	・指標見直し	
生産から消費	大阪産（もん）を購入できる販売店や料理店の増加 (大阪産（もん）ロゴマーク使用許可件数)	変更	385件 (H28)	530件	府環境農林水産部流通対策室調べ	・指標見直し	
	郷土料理等の地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかい等の食べ方・作法を継承し、伝えている府民の割合の増加	新規	21.9% (H28)	30%以上	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	・国計画を踏まえて新規追加 ・国の目標値設定の考え方を参考	
食育を支える社会環境整備	食育に関心を持っている府民の割合の増加	継続 (一部変更)	54.4% (H28)	70%以上	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	・データソースの見直し ・国の目標値を参考	
	食育推進計画を策定・実施している市町村の割合の増加	継続	93.0% (H29)	100%	府健康医療部保健医療室調べ	・目標維持	
	食育推進に携わるボランティアの人数の増加	継続	5,466人 (H27)	増加	府健康医療部保健医療室調べ	・増加をめざし、推移の確認	

第2次大阪府食育推進計画					
指標	計画策定時	最終評価値	データソース	目標	評価 (※)
栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合の増加 (食事バランスガイド等を参考にメニューを選ぶ府民の割合)	15.0% (H22)	26.9% (H26)	「食育」に関するアンケート	60%	B
朝食を欠食する人の割合の減少	7～14歳	7.4% (H19-H21平均)	3.9% (H25-H27平均)	国民健康・栄養調査	A
	高校生・大学生等 (高校生)	10.6% (H23)	13.2% (H28)	府事業アンケート	C
	(大学生)	5.9% (H23)	18.9% (H27)	府事業アンケート	
野菜摂取量の増加	7～14歳	227g (H19-H21平均)	223g (H25-H27平均)	国民健康・栄養調査	C
	15～19歳	253g (H19-H21平均)	216g (H25-H27平均)	国民健康・栄養調査	C
メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している府民の割合の増加	29.5% (H24)	22.4% (H28)	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	50%	C
よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に 関心のある府民の割合の増加	58.0% (H24)	59.9% (H28)	「お口の健康」と「食育」に関するアンケート	80%	B
「食に関する指導」の推進体制が整備されている小・中学校の割合の増加	76.4% (H23)	100.0% (H29)	府教育委員会調べ	100%	A
「うちのお店も健康づくり応援団の店」 協力店舗数の増加	10,232店舗 (H23)	12,650店舗 (H28)	大阪ヘルシー外食推進協議会調べ	12,700店舗	B
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる 「共食」の回数の増加	週9.1回 (H24)	週10.7回 (H27)	策定時：「お口の健康」と「食育」に関するアンケート 評価値：大阪版健康・栄養調査	週10回	A
食の安全性に関する基礎的な知識の普及 (リスクコミュニケーションの開催)	年2回 (H22)	年7回 (H28)	児童を対象としたリスクコミュニケーション開催回数	年6回	A
大阪産(もん)の認知度の向上	46.2% (H22)	51.0% (H28)	策定時：オンリーワン都市調査 評価値：将来ビジョン・大阪調査	60%	B
食育に関心を持っている府民の割合の増加	89.0% (H22)	92.8% (H27)	「食育」に関するアンケート	95%	B
推進計画を作成・実施している市町村の割合の増加	44.0% (H23)	93.0% (H29)	府健康医療部保健医療室調べ	100%	B
食育推進に携わるボランティアの人数の増加	4,849人 (H22)	5,466人 (H27)	府健康医療部保健医療室調べ	5,300人	A

参考		
国直近値	データソース	国目標
59.7% (H28)	食育に関する意識調査 (農林水産省)	57.7%→70%以上
6.5% (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	※データソースのちがいであり 子ども(小学6年生) 4.4%→0%
13.8% (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	全国学力・学習状況調査 若い世代(20～30歳代) 24.7%→15%以下 食育に関する意識調査
25.8% (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	—
246g (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	—
242g (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	—
292g (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	—
10.0g (H26)	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	(生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合)
51% ※ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	食育に関する意識調査 (農林水産省)	49.2%→55%以上 ※ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合
—	—	(中学校における学校給食の実施率)(学校給食における地場産物を使用する割合・国産食材を使用する割合)
—	—	(食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数)
週10.1回 (H28)	食育に関する意識調査 (農林水産省)	週9.7回→週11回以上
71.4% (H28)	食育に関する意識調査 (農林水産省)	64.6%→70%以上
—	—	(食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合・若い世代の割合)
—	—	(農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合)
41.5% (H28)	食育に関する意識調査 (農林水産省)	41.6%→50%以上
79.6% (H28)	食育に関する意識調査 (農林水産省)	75.0%→90%以上
78.1% (H28)	農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課調べ	76.7%→100%
35万人 (H28)	農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課調べ	34.4万人→37万人以上

評価(※) A: 目標値に達した B: 改善傾向にある C: 変わらない又は悪化している